

# 雪印の子牛育成用飼料の特長と与え方

札幌研究農場 松原 守

## 2. 雪印の子牛育成飼料と使い方

### 雪印ネオカーフミルク

- (1) 初乳に引続いて、生後45日齢まで給与する良質脂肪を高度に添加した、高カロリーの完全な栄養価を有した全乳代用乳です。
- (2) サラサラして温湯によくとけ、脂肪の完全乳化により、吸収がよく、発育が抜群で経済的です。
- (3) 給与は生後1週間初乳を与えた子牛に一定量を5～6倍の湯に溶かして与えます。湯の温度は40℃前後が好ましく、低目より高目の方が好ましいようです。

### 雪印カーフスターター

- (1) 生後、7日齢ごろから90日齢（肉牛では75日齢）まで給与する早期離乳用人工乳です。
- (2) 早期に第一胃の機能を発達させ、旺盛な消化力をもった牛に仕上げます。
- (2) 固形（ペレット）で各種の微量成分もバランスよく配合されておりますので、栄養価も高く、嗜好性のよい効果的な人工乳です。
- (4) 給与は生後7日目頃から少しずつ給与して、味を覚えさせます。ネオカーフミルクと併用しますので、最初はネオカーフミルクを与えたあとに口の中におし込んでやるか、ネオカーフミルクを粉衣して与えるとよく喰べるようになります。
- (5) カーフスターターを食べ始めると水分をほしがりますので、同時に水を不断に与えなければなりませんし、水を与えることによってカーフスターターの摂取量が増加してきます。

### 雪印子牛用配合飼料

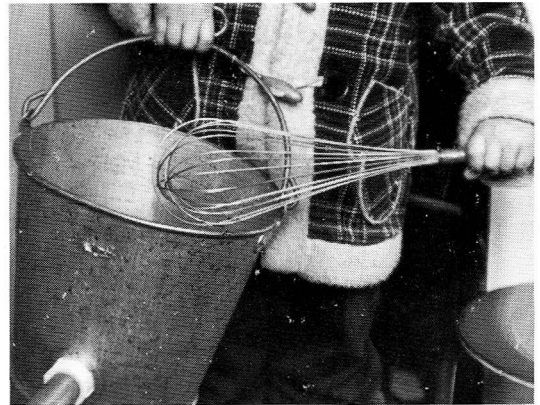
- (1) カーフスターターに引き続いて、生後90日齢ごろから、生後7～8ヵ月齢ころまで給与する配合飼料です。
- (2) 良質の蛋白源、穀類を合理的に配合し、栄養

のバランスをととのえてありますので、消化性、嗜好性にすぐれております。

- (3) 1日当たり2kg程度を2～3回に分けてお使い下さい。

### 雪印若牛用配合

- (1) 子牛用に引き続き、生後8～9ヵ月齢から分娩まで給与する配合飼料です。
- (2) 各種の栄養分がバランスよく配合され蛋白過剰の危険が避けられ、順調な発育と、高受胎率が期待できます。
- (3) 分娩3～4ヵ月前までは2kg位、分娩3～4ヵ月前からは胎児の発育を考慮して3～4kg位給与します。



雪印子牛育成飼料の保証成分と可消化成分

飼料名	成分		可消化成分			
	粗蛋白質	粗脂肪	粗繊維	粗灰分	可消化粗蛋白質 D C P	可消化分総量 T D N
ネオカーフミルク	%以上 26.0	%以上 15.0	%以下 2.0	%以下 10.0	25.0 %	95.0 %
カーフミルク	26.0	5.0	3.0	10.0	25.5	82.5
カーフスターター カーフフード	20.0	3.0	7.0	10.0	18.0	70.5
子牛用配合	16.0	2.0	7.0	10.0	13.5	70.0
若牛用配合	13.0	3.0	7.0	10.0	11.0	70.0